

# 西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2002.8.18. 呉市中央7-7-13

21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

## 今日したこと

## 保護者のみなさんへ

おぼん『せいてん』 128P  
仏教こども新聞  
「みんな年をとらないで」  
「まちがいがし」  
だーれだ？

### いかがでしたか？夏休み子ども大会

いかがでしたか？心配したカレーですが、おかわりの大行列ができたほど大人気だったので、とても嬉しかったです。また、初めての経験として龍谷大学伝道部から女性2人が来てくれました。どんなゲーム指導をしてくれるのか楽しみでしたが、何よりもその「はじけ具合」というのでしょうか、若いつもりだった私も「これはついていけないなあ」と知らないうちにとっていた年を自覚させられたのでした。

安芸南組（近隣5ヶ寺）夏の行事は、隔年で「子ども大会」「児童念仏奉仕団」略して「児念」です。来年は「児念」の年になります。「児念」とは本願寺に半日掃除に行くのですが、帰りに「USJ」に行けます。一昨年行けなかったのを将吾くんと薫乃ちゃんは、待ちに待った「児念」ということになります。確か組から補助が出て旅費が安くなります。みなさんも卒業までには一度行かせてやってくださいね。もちろん、**夏の子ども大会もあります**。龍谷大学伝道部の学生さんが来てくださり、参加人数は少し少なくなりますが近隣の数ヶ寺から参加して行きます。

### 全国児童作品展作品募集

今年も幼児・小中学生を対象に募集します。みんなで応募しましょう！入賞作品は1月のご「正当（御正忌）報恩講」に本願寺に展示され、たしか京都までの交通費がでる（ただで行ける）と思います。詳しくは別紙をご覧ください。

### 「暮らしの中のカウンセリング」ーあたたかい家庭をー

小学4年生の孫とおばあちゃんの会話です。

「おばあちゃん、極楽ってほんとにあるの」  
「ほんとにあるよ」  
「極楽ってほんとに楽しいところ？」  
「楽しい、楽しい。苦しいことって何もないところよ」  
「そしたらおばあちゃん、テストもないの」  
「ない、ない」  
「そしたら早く早く極楽へ行きたいなあ」

このようなさりげない日常会話の中で、子どもは、心身の苦痛を訴えていることがわかります。

-----（中略）-----

人には誰にでも、多かれ少なかれ、他人の想像を超える心身の苦痛や、心の葛藤がある。それを、日常の人間関係の中で、直接的・間接的に、また意識的無意識的に言葉や動作で表現し、わまりの人の理解と助けを求めている。したがって、日頃の人間関係の中で、お互いに人の言動や動作にあたたかい注意を向け、そのもとにある欲求を大事にしあうことが大切である。そうすることによって、不幸な事態を未然に防げるばかりでなく、積極的に支え合い育ちあって生きる喜びを経験することができる。

（西光義敞『暮らしの中のカウンセリング』より）

来る8月23日（金）夜席～25日（日）昼席まで拙寺白道会法座に西光義敞先生をお招きします。

（朝席）8：30～10：30 （昼席）13時～15：00 （夜席）19：30～21：00

法座（仏教の話）全体を通して、カウンセリングの実践的な話もしていただきます。特に24日（土）13時からカウンセリングの講習会もあります。

1席だけの参加ももちろんOK。1席でも6席でも3000円。

-----  
《西光義敞先生》

全日本カウンセリング協議会理事・真宗カウンセリング研究会会長・元龍谷大学教授・奈良県万行寺住職  
著書『親鸞とカウンセリング』『宗教とカウンセリング』『暮らしの中のカウンセリング』『真宗カウンセリング入門』他

-----  
この次は、**9月7日（土）10時～**です。  
その次は9月15日（日）です。